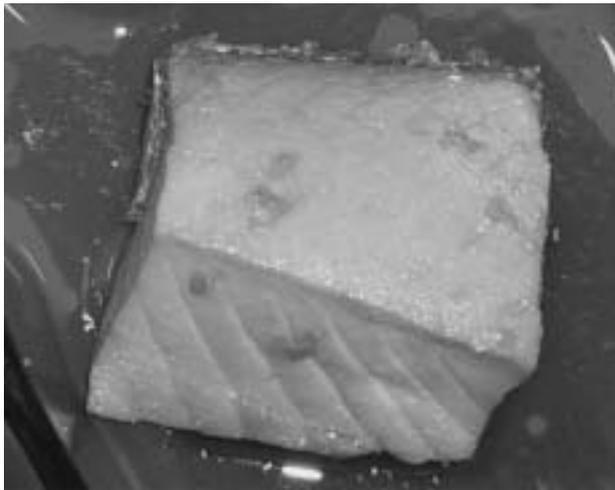


# じっくり心をこめて

# スローフード 49



## 鮭の甘辛煮

甘い味付けで子どもからお年寄りまでたいへん好まれます。鮭のシーズンにぴったりで、調理時間も約20分と簡単に作ることができます。

## 《今月のご紹介》

上関地区食生活改善推進員 の皆さん

### 材料 (4人分)

- ・生鮭の切り身 4切れ
- ・しょうが 5g
- ・酒 大さじ9
- ・砂糖 大さじ1
- ・みりん 大さじ2
- ・しょうゆ 大さじ4~5
- ・赤唐辛子 1/2本
- ・キャベツ 4枚

### 作り方

- 1 キャベツを洗って水気を切り、ひと口の大きさに手でちぎる。しょうがは薄い輪切りにする。唐辛子は種をとって輪切りにする。
- 2 鮭を熱湯にさっと通す。
- 3 鍋に酒、砂糖、しょうゆ、しょうが、唐辛子を入れて火にかける。煮立ったら鮭を入れ、アルミホイルで落としぶたをして中火で蒸し煮にする。
- 4 鮭が煮える頃にキャベツを入れてさっと煮て、鮭とキャベツを取り出して盛り付ける。残った汁を煮詰めてかける。

## せきかわ文芸

せきかわ文芸への投稿をお待ちしています

せきかわ文芸コーナーは、一般・中学生・高校生どなたでも投稿することができます。

広報せきかわは、皆さんからの素晴らしい作品をお待ちしています。

基本事項

俳句・川柳「五・七・五」 俳句には季語が必要です。

短歌「五・七・五・七・七」

問い合わせ・投稿先

役場総務課総務班(広報編集室) ☎六四 一四七六

### 短歌

陽を受けて枝もたわわの柿あまた空をみ 高橋 イツ  
るよに雪にいろどる (愛広苑)

### かたばみ短歌会作品

迎えに来る夫の誘いを断わりてバスから見ゆる景色楽しむ 小池 啓子

湯花入れ身体の節ぶし揉み解し消雪の音きく 山口 藤枝

命にも限りがあると会つ日待つ裂かれし絆の結ぶ年にと 須貝 恵美

調理法とともに届きぬ寒の鱈ひらける湯気に 佐渡の海みゆ 渡辺千恵子



新潟県家畜保健衛生所長を務めた鳥屋雄司は昭和十二年十月二十日関川村宮前に鳥屋二郎の長男として生まれた。昭和三十一年村上高校を卒業

# 近・現代 関川郷の人びと

執筆：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

## 鳥屋雄司

医学部への進学を希望していたが、篤農家の祖父龍蔵の強いすすめによって日本大学農獣医学部獣医学科に特待生として入学。昭和三十五年三月同大学を卒業。同時に獣医師の資格を取得。同年四月一日農林省に採用され、農林省宮崎種畜牧場（現家畜改良センター）に赴任した。牧場は宮崎県の西南部霧島山麓の東傾斜面、標高二三〇～五四〇メートルに位置し総面積三七八・二畝の広大な牧場であった。鳥屋はここで乳用牛（ホルスタイン種）の改良事業に真剣に取り組んだ。

昭和三十八年一月一日当時千葉市にあつた農林省畜産試験場（現畜産草地研究所・つくば市）に異動。試験場では良質で健全な畜産物の生産性向上の研究が行われていた。特に昭和三十九年八月六日杉江（すぎえ）を中心に関腹手術なしで受精卵移植に成功し世界を驚かせた。研究心旺盛な鳥屋も熱心に革新的な技術の研究に取り組んでいた。しかし昭和三十九年十月三日父二郎が急死したため郷里へ帰らざるを得なくなり、昭和四十年六月二十八日農林省を辞職。同年七月一日新潟県職員に採用された。最初の勤務地は北蒲原（現下越）家畜保健衛生所であった。そして昭和四十二年から四十九年三月まで新潟県農林部畜産課勤務となつた以外は新潟県畜産試験場と四ヶ所（中央・下越・中越・上越）の家畜保健衛生所に勤務し、それぞれの管内の畜産の振興に尽力した。

平成四年四月一日下越家畜保健衛生所長に就任。北蒲原・岩船・東蒲原各地域の家畜伝染病の発生予防対策に取り組み、地域の防疫体制の強化に努めた。また安全で良質な畜産物の生産対策にも力を注いだ。

平成六年四月一日中央家畜保健衛生所長に栄転。所管区域は現在の新潟市をはじめ六市一町一村で酪農及び養豚の盛んな地域である。家畜伝染病予防、まん延防止をはじめ生産性の向上、畜産物の安全性確保などに尽力し、地域における畜産振興に多大な貢献をした。

平成九年三月三十一日退職。以後新潟県村上財務事務所に嘱託として勤務。また宮前中田圃場整備事業の代表を務め郷里のために尽くした。平成十二年六月十五日心筋梗塞のため六十二歳の若さでこの世を去つた。

### ・鳥屋家の系図

先祖  
長左衛門・龍蔵 二郎 雄司 信裕

## せきかわ文芸

### 関川俳句の会作品

児の誘ひ見事なるかな春の月 渡辺しづい

陽の射して友来る予感春つらら 渋谷 くに

啓蟄や連山うすく煙りたり 五十嵐貞子

春の始め念仏講の日々にあり 南 セツ

遠慮なき隠居の欠伸日永かな 佐藤 ノブ

乳のみ児のはや眠りたり雛の前 米野 セツ

射し込みし光に舞うや春の塵 青木 慶一

### せきかわ川柳会作品「切る」・「弁解」・「雑詠」

我を折れば妥協の線が浮いてくる 平田 千恵

ごめんねのその一言にある重み 渡辺しづい

戦中苦笑って話すも幸のうち 佐藤 ノブ

琵琶湖路にマフロンテープ切る快挙 本間 イミ

切る切れる所がいつも仲が良い 高橋 イツ

ヨーカン切る物差し使う子だくさん 南 セツ